

仲間とマスクを外しのびやかな歌声を響かせる生徒たち



マスク外し歌声合わせ

4年ぶり 生徒のびやかに

蘇南高

南木曾町の蘇南高校（松村義晴校長、116人）は5日、生徒たちの合唱祭を校内で開いた。新型コロナウイルス感染症の影響から4年ぶりの開催で、保護者らが見守る前で仲間とのハーモニーを伸び伸びと響かせた。

1～3学年の各クラスが体育館のステージに立ち、伴奏に合わせ披露した。生徒たちはいずれも合唱祭は初めてで、体育館の慣れない環境の中でも練習の成果を出し力いつぱいの歌声を届けた。

例年はコンクールだったが、競うのではなく音楽を楽しんでもらおうと合唱祭とした。練習のまとめや行事の運営をする合唱祭係の3年・小椋明日香さんは「体育館だと教室とは声の響きが全く違った」と振り返り、同係3年の木村美桜さんは「みんなで歌うことができて楽しかった」とほほ笑んだ。（大高崎慧）